

## 滑川高校とサケ・マス観察会を実施！

神通川自然再生事業で整備しました多自然流路にて、生態系保全や環境保全の必要性の学習することを目的に、滑川高校海洋科の生徒を対象としたサケ・マス観察会を実施します。

当日は富山県・富山漁業協同組合による天皇・皇后両陛下から「お手渡し」されたサクラマスの記念放流も行われます。

日 時：[記念放流] 平成27年11月6日（金）10時15分～  
[観察会] 10時35分～

※雨天決行

場 所：富山市婦中町成子地先（実施位置図を参照）

参加者：富山県立滑川高校海洋科 1年生 14名

### 【実施内容】

- ・「お手渡し」のサクラマス放流
- ・サケの遡上観察
- ・産卵状況の観察（水中カメラによるモニター観察）
- ・神通川自然再生事業の説明 など

### お問い合わせ先

[神通川自然再生事業に関すること]

国土交通省富山河川国道事務所 地域防災調整官 佐藤 利行 TEL 076-443-4715

[記念放流・観察会に関すること]

富山市水辺をきれいにする会（事務局：富山漁業協同組合）

参事 東 秀一 TEL 076-432-4803



パレットとやま

富山河川国道事務所 T e l : 076-443-4701 (代)

〒 930-0837 富 山 市 奥 田 新 町 2 番 1 号

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>



記念放流及び視察会実施場所

記念放流及び  
視察会実施場所

駐車場

成子大橋

神通川

# 事業の概要

# 参考

・人為的インパクトにより河川環境が変化した神通川にて、サクラマス<sup>①</sup>の生育・生息に適した環境を再生することで、他の魚種も含めて良好な河川環境の形成・保全が期待できることから実施している事業です。

・サクラマスは、幼魚期に細流で過ごしてから、一旦降海して大きく成長、再び河川に遡上してから淵で越夏し、秋にさらに上流に遡上して産卵して一生を終える。このように、川の上下流までの様々な場所を利用・依存することから、“魚の棲みやすさ”の健全度を計るうえで適当な指標種と言えます。

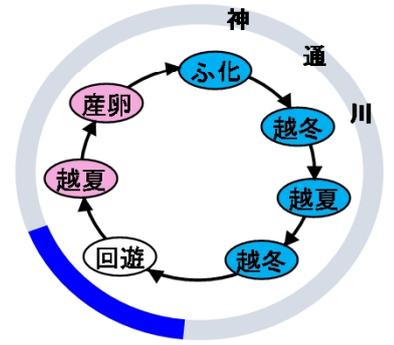
## サクラマスとサケの生活史の比較

**サクラマス** 河川の様々な場所を利用、依存することから、多様性や連続性の影響を受けやすい。

	1年目			2年目			3年目		
季節	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋
場所	神通川			オホーツク海			神通川		
生活史	ふ化 稚魚			幼魚 (海へ)			回遊 (神通川へ)		

← 幼魚期 →

← 成魚期 →



サクラマスの成魚の体長は約60㎝、重量約3㎏であり、秋に川の上流部で産卵する。  
ふ化した稚魚は川で1年半過ごした後、春に一部が富山湾に下り、1年間にわたり遠くオホーツク海まで回遊し、春先に成魚となって生まれた川に戻ってくる。その後、サクラマスは川の中で半年間を過ごし、秋に川の上流部で産卵する。

**サケ** 「ふ化」してから、再び川に遡上して「産卵」するまでの間を多くを海で過ごす。

	1年目			2年目			3~4年目		
季節	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋
場所	神通川			オホーツク海			神通川		
生活史	ふ化 幼魚 (海へ)			回遊			(神通川へ) 産卵		

← 幼魚期 →

← 成魚期 →

# 事業の概要

- ・事業計画として越夏場所4箇所（約1,080m）、越冬場所5箇所（約1,930m）を計画。
- ・平成27年度までに越夏場所4箇所（1,010m）、越冬場所3箇所（1,260m）を整備済み。

**施工箇所** 過去より失われた淵及び良好な瀬（多自然流路）を再生する。



**放流及び観覧会実施場所**

凡例	
— (Blue line)	越夏場所
— (Red line)	越冬場所
■ (Yellow box)	施工済箇所
■ (Green dashed box)	整備予定箇所